

平成 27 年度第 2 回田原市中心市街地活性化協議会議事録

1. 日 時：平成 27 年 10 月 28 日（水） 午後 2 時～午後 3 時 30 分
2. 場 所：田原市役所 北庁舎 1 階大会議室
3. 出席者：河合利則（田原市商工会）安田幸雄（株式会社あつまるタウン田原）
大羽康彦（田原市商工会）、富田宗邦（田原青年会議所）、
河合潤二（田原中部校区コミュニティ協議会）
石原一秀（萱町自治会）、杉浦拓（新町自治会）
中嶋信夫（豊橋鉄道株式会社）、柏野浩太郎（田原金融協会）
鈴木 敏（愛知みなみ農業協同組合）、太田次男（田原市）
片桐祐子（経済産業省中部経済産業局）、永田尚也（経済産業省中部経済産業局）
元木 茂（中小企業基盤整備機構）、加藤秀明（中小企業基盤整備機構）
小口英二（中小企業基盤整備機構）
田原市：柴田高宏・河邊俊和・仲谷和也・鳥居伸光・折戸裕美
事務局：小久保伸也（田原市商工会）杉原実善（田原市商工会）
丸山尚孝（株式会社あつまるタウン田原）

◆開会のことば

司会者 小久保伸也

◆田原市中心市街地活性化協議会会長挨拶

河合会長より挨拶

◆議長指名

田原市中心市街地活性化協議会会長

◆議事録署名人の指名

河合潤二（田原中部校区コミュニティ協議会）、柏野浩太郎（田原金融協会）

◆前回議事録の確認

タウンマネージャー丸山尚孝氏より説明及び確認依頼があり、前回議事録署名人から内容は適正であるとの報告があった。

◆議事

1. 田原市中心市街地活性化基本計画（案）について
議長は説明を市に求めた。

田原市 鳥居伸光氏より、まちづくり会議や内閣府との協議があり、基本計画（素案）に対する基本計画（案）の修正点について下記の説明があった。

基本計画の1頁から40頁は統計的なデータであり細かな修正のため省略した。

41頁の中心市街地活性化の課題については、空き地・空き家の適切な管理と有効活用を含めた。

43頁は内容の変更はないが、将来像の表現を、花・緑・歴史的景観など「田原らしさ」を感じられ、歩いて楽しい活気あるまちとした。45頁の目標指標では効果が見えないため、空き店舗数から新規出店に変更した。実施事業は4事業を削除し3事業を追加したので39事業から38事業に変更した。

削除は市道萱町吉胡線道路改良事業、居場所づくりモデル事業、空き店舗バンク活性化事業、まちなか情報発信拠点設置検討事業で、追加は9番(まちなか修景整備事業)、18番(在宅高齢者御用聞きサポート事業)、26番(起業チャレンジ促進事業)であり、名称変更は14番(市民交流広場有効活用事業)、15番(低・未利用地活用事業)、19番(福祉センター機能向上事業)、23番(住宅供給推進事業)です。全体の構成として、第9章の4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項はこれまで示していなかったが、これまでの会議の結果や開催状況をまとめたものを掲げてあります。77頁の現状分析及び課題の2行目では早朝・深夜を除くなど表現の修正をした。前回からの今回の大きな修正点について説明があった。また、これからは11月16日からパブリックコメントを実施し、1月には認定申請を内閣府にしていけます。今後も内閣府とのやりとりがあるので大きな変更についてはこの協議会に報告します。との発言があった。

議長は出席者に意見を求めたところ特になかったので、タウンマネージャー丸山孝尚氏に田原市長に対する田原市中心市街地活性化基本計画(案)に関する意見書の説明を求めた。タウンマネージャー丸山孝尚氏から意見書の説明があった。

議長は出席者に意見を求めたところ、中部経済産業局の片桐祐子氏から市民のみなさんに広く周知して頂きたい。との意見があった。次に田原中部校区コミュニティ協議会の河合潤二氏から社会の変化に対応すべくスピードアップして頂きたい。との意見があった。中小企業基盤整備機構の元木茂氏からこの計画は市民全体が同じ方向に向かうよう周知して頂きたい。との意見があった。

議長はこの意見を踏まえこの意見書で田原市長へ提出したい。と諮ったところ意義がなく承認された。

2. その他 三河田原駅前工場跡地の土地活用の構想について

議長は説明を市に求めた。

田原市の柴田高宏氏より当初は民間活力として公募したが、断念して先送りとなっている。

田原市と隣あつまるタウン田原と協議していくが、今現在は渥美半島の地域資源、情報発信の場、また、子育て世帯に貢献したい。と考えています。この資料は今のイメージ、方針を示しています。との説明があった。

議長より市民アンケート、各種会議の意見を盛り込むとこのようになりますが、進め方について意見を頂きたく出席者に求めた。

萱町自治会の石原一秀氏より、カフェや地元素材のレストランは良いと思います。また、公共施設を集めて賑やかにしてほしい。歩いてくる人を増やしてほしい。との意見があった。

新町自治会の杉浦拓氏より、フタムラ工場跡地の西側の土地も含めて賑わいが出るよう考えて頂きたい。また、工場跡地から駅に渡る良い方法を考えてほしい。との意見があった。

田原金融協会の柏野浩太郎氏より、工事のスタート時期などスケジュールはどうなるのか。との質問

があり、田原市の柴田高宏氏から(株)あつまるタウン田原と協議しながら進めて行きたい。との説明があった。

田原中部校区コミュニティ協議会の河合潤二氏から、二七の市の場所が不安定なため、考えて頂きたい。との意見があった。

(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏から、過去では松下駐車場、セントファーレ、駅前と転々としているが、中部小学校と2年前から協調しているので意見が出れば移転も含めて検討していきます。との説明があった。

田原市商工会の大羽康彦氏より、これが原宿であれば人が集まるが、ここではどうか。この地域の人にはオープンカフェでなく個室に入りたいと思う。また、朝市は高齢者はいるが、若者は寝ている。若者を集客したければ考える必要がある。との意見があった。

(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏より、女性が集まる所として素材などをコンセプトとして周辺を整備して集客していくことを考えていきます。との説明があった。

田原青年会議所の冨田宗邦氏からボルダリング施設以外で何かあるのか。との質問があり、(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏よりこれは1つの例であり、イメージなので基本をしっかり考えていきます。との説明があった。

中部経済産業局の永田尚也氏より、これについてはアンケートはとったのか。との質問があり、田原市の鳥居伸光氏よりとっていないが、三重県では子供の施設を入れて客数が上がった事例があります。との説明をした。

田原中部校区コミュニティ協議会の河合潤二氏から、はなときから駅までが良くなるか心配である。との意見があり、(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏より、中心市街地の整備でこの地域の人には外へ出て行った経緯があるが、商店の集積をどう考えるかが必要である。との発言があった。

中小企業基盤整備機構の加藤秀明氏より、この施設は良いが、情報発信をうまく考えて頂きたい。との意見があった。

中小企業基盤整備機構の小口英二氏より、景観、広場、夜店などイベントを生かしてほしい。どのように広場などを使っていくかを考えてほしい。との意見があった。

豊橋鉄道株式会社の中嶋信夫氏より、この駅は休憩の場所でもあるので、豊橋にはない楽しさがほしい。田原らしい施設であれば魅力的である。との意見があった。

愛知みなみ農業協同組合の鈴木敏氏より、車の人や渥美地域の人がここに来るのか。特産品などに積極的に取り組んで頂きたい。との意見があった。

中部経済産業局の片桐祐子氏より、国の認定申請は3月なので色々な地域との連携や市民へPRして頂きたい。との意見があった。

(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏より、国の認定を受けてから年に2回は冊子を発行します。との発言があった。

田原市商工会の河合利則氏より、商工会では創業支援をしていきます。との意見があった。

田原市の柴田高宏氏より、貴重なご意見ありがとうございました。より魅力的な施設を検討していきます。との発言があった。

次に田原市から今後のパブリックコメント、認定申請などスケジュール説明があった。

田原市商工会の河合利則氏より、チェック機関はどうか。との質問があり、タウンマネージャー丸山尚孝氏より、国の認定後事業を実施していく中で、タウンマネジメント会議から協議会に上げていきま

す。総会は最低年1回は開催し、ここで確認して頂きます。との説明があった。

(株)あつまるタウン田原の安田幸雄氏より、新たな事業を行う場合も協議会へ上げていきます。との説明があった。

新町自治会の杉浦拡氏より、市民から工場跡地はどうなるのか。と聞かれるので、市民に知ってもらって意見を協議会に上げていきたい。また、地元市民には中間での出来具合などを見てもらうとか、このような活動は大切である。との意見があった。

田原市の太田次男氏より、第3回の協議会では認定を説明したいので、認定される予定では3月に協議会を開催して頂きたい。との発言があった。

次回は認定後の3月に協議会を開催することとした。

◆閉会のことば

司会者 小久保 伸也

議事録署名人： 構成員 河合 潤二 ㊞

議事録署名人： 構成員 柏野 浩太郎 ㊞